

「あ、今年は法事をする年だった…」
というあなたへ

小野川温泉

これで安心!!

ご法事・ご法要 段取りマニュアル スケジュール表

【山形県米沢市版】

鈴の宿

とうふや

登府屋旅館

〒992-0076 山形県米沢市小野川町2493

電話番号 0238-32-2611

FAX 0238-32-2613

公式サイト www.tofuya.jp

1. 法事は、なぜつとめる？

七き人をしのぶ心情ほど、人間的・宗教的な心の動きはありません。

人間とは、一人では生きて在りえない存在なのです。

意識する、しないにかかわらず、いろんな方々のおかげによって、はじめて生きてゆけるのです。

人から愛され、また人を愛してこそ、人々との関係が成り立ち、自分をふくめての人の社会が成り立っているわけです。

これを仏教では、「縁(えにし)」といいます。

だから愛する人や、身近な人を失うほど、人間にとって深刻な打撃はありません。

しかし、そのときに故人は仏さまの世界でいきていくのだと受けとめることが信仰となります。

七き人をしのぶというのは、仏さまの大きな愛(慈悲)の世界に往った人を、いまいるかのように思い、永遠の幸福を願うことです。それが七き人の冥福を祈ること。追善供養も、その願いから行われます。

法事ということも、仏教をひろめ、盛んにするための行事を意味するとともに、七き人の命日に追善供養、追弔法要をいとなむことをいうようになりました。

だから法事は、仏法実践の一つの道です。

七き人をご縁として真実の教えである仏教に出遇う得がたい機会・・・それが法事だといえるでしょう。

但し、宗派によっては、「追善供養」という考え方をとらない場合もあります。

七き人の遺徳をしのび、

それを通して仏法を聞(聴)かせて頂く「ご縁」

とするのが基本的な法事の考え方です。

ですから、法事は自分自身が仏法というありがたい教えを聞く機会ととらえられます。



2. 命日と祥月命日

故人がお亡くなりになった日を「命日」といいます。

たとえば、6月20日にお亡くなりの場合、20日が命日です。

命日は、1年に12回、訪れます。

年に一度、亡くなった日と同月の命日が訪れます。

これが「祥月命日(しょうつきめいにち)」です。

法要は、祥月命日に行われます。

都合により日程を変更する場合には、祥月命日より前に行います。

3. 年忌法要

列席者を招いて追善供養するのを「年忌法要」または「年回法要」といいます。

死亡翌年の祥月命日はなかでも大切な「一周忌」です。

必ず営み、四十九日の法要と同様に盛大に行います。

年忌法要は一周忌のあと、2年目の命日に行く「三回忌」以後、七回忌(6年目)、十三回忌(12年目)、十七回忌(16年目)と、三と七の年度に行います。一般的には三十三回忌が終わると完全に成仏したと考えられ、最後の法要として「年忌明け」と呼ばれます。

仏式と神式では、呼び方や時期が異なりますので、以下の一覧表を参考にしてください。

年回忌早見表(法事)	
[仏式の場合]	[神式の場合]
死亡日も含めて	死亡日も含めて
◆ 初七日忌: 7日目	◆ 10日祭: 10日目
◇ 二七日忌: 14日目	◇ 20日祭: 20日目
◇ 三七日忌: 21日目	
◇ 四七日忌: 28日目	◇ 30日祭: 30日目
◆ 五七日忌: 35日目	
◇ 六七日忌: 42日目	◇ 40日祭: 40日目
◆ 七七日忌: 49日目	
◆ 百日忌: 100日目	◆ 百日祭: 100日目
◆ 印はよくされている。	◇印は省略されていることが多い。

1周忌(1年祭)からの法事予定表

[仏式の場合]	[神式の場合]
1周忌: 1年目	1年祭: 1年目
3回忌: 2年目	3年祭: 3年目
7回忌: 6年目	5年祭: 5年目
13回忌: 12年目	10年祭: 10年目
17回忌: 16年目	15年祭: 15年目
23回忌: 22年目	20年祭: 20年目
27回忌: 26年目	25年祭: 25年目
33回忌: 32年目	50年祭: 50年目
50回忌: 49年目	

法要を行う年	1周忌	3回忌	7回忌	13回忌	17回忌	23回忌	27回忌	33回忌	50回忌
平成25 (2013)	平成24 年没	平成23 年没	平成19 年没	平成13 年没	平成9 年没	平成3 年没	昭和62 年没	昭和56 年没	昭和39 年没
平成26 (2014)	平成25 年没	平成24 年没	平成20 年没	平成14 年没	平成10 年没	平成4 年没	昭和63 年没	昭和57 年没	昭和40 年没
平成27 (2015)	平成26 年没	平成25 年没	平成21 年没	平成15 年没	平成11 年没	平成5 年没	平成元 年没	昭和58 年没	昭和41 年没
平成28 (2016)	平成27 年没	平成26 年没	平成22 年没	平成16 年没	平成12 年没	平成6 年没	平成2 年没	昭和59 年没	昭和42 年没
平成29 (2017)	平成28 年没	平成27 年没	平成23 年没	平成17 年没	平成13 年没	平成7 年没	平成3 年没	昭和60 年没	昭和43 年没
平成30 (2018)	平成29 年没	平成28 年没	平成24 年没	平成18 年没	平成14 年没	平成8 年没	平成4 年没	昭和61 年没	昭和44 年没

3. 法要の準備

1) 菩提寺様と打合せ

年忌・年回の法事をつとめることになったら、【日程】と【場所】と【時間配分】を決めねばなりません。

できれば、3ヶ月前。遅くとも、1~2ヶ月前。

所属のお寺のご住職に連絡して、日時・場所・内容の打合せを行います。

【日程】は、祥月命日「以前」に行います。

法事は命日に行いますが、参列者の都合も考えて日曜などにすることもあります。

日程を変える場合は必ず命日前にずらし、命日より後にしないようにしなければなりません。

【場所】は、自宅か、お寺か。

いずれの場合も、菩提寺様の指示に従って準備をすすめてください。

準備は、宗派によって違いもありますので、お寺で準備いただけるか、施主様が準備になるか、いくつか必要か、を打合せしてください。

【時間配分】は、集合から解散までのおおまかな当日の流れです。

通常、法要は1時間程度必要です。

法要後に墓参りをする場合は墓参りの時間、会食会場への移動時間に予備の時間を加え、おおまかな当日のスケジュールも話し合います。

2) 宿と打合せ

菩提寺様との日程調整と同時に宿の空き状況もご確認ください。

【時間帯】 【人数】 【ご予算】 【送迎】 を教えていただけるとスムーズです。

【時間帯】は、法事終了後、宿への移動時間も考慮してください。

【人数】は、案内前ですので案内する予定人数(だいたい)でかまいません。

【ご予算】は、プランをお選びください。

【送迎】は、10名以上、米沢市内1箇所ならば、無料です。時間をお教えください。

なお、【思い出ムービー】の制作をご希望ならば、ぜひこの時点でお伝えください。

3) 案内する

三回忌までは故人と縁が深かった方々を招き、七回忌以降は徐々に内輪になる例が多いようです。ですから、特に重要な四十九日、一周忌、三回忌では、案内状を出します。

1ヶ月前にはご案内しましょう。

当館では、引出物をご注文いただきますと、【案内はがき】をサービスいたします。裏面を印刷まで無料。表面の宛名印刷は別料金となります。

申し訳ございませんが、【往復はがき】や【封書】は、対応しておりませんのでご了承ください。

■ 案内状には

1. 挨拶文
2. 故人の名前と法事内容(何回忌か)
3. 法事の日時・会場 を明記します。

<法事案内状 文例>

<p>謹啓 【陽春の候】、皆様ますますご清栄のことごとく拝察申し上げます。さて、この度【亡父 〇〇】【三回忌】の法要を相営みたく存じます。つきましては、ご多忙中誠に恐縮ではございますが、ご光臨の上ご焼香賜りたく書中をもって御使い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">謹白</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>一・日時 〇月〇日 日曜日 午前十時三十分</p> <p>一・場所 〇〇寺</p> <p>※なお、法要墓参終了後、登府屋旅館にて粗餐の支度をさせていただきます。</p> <p>平成〇〇年〇月</p> <p style="text-align: right;">山形県米沢市〇〇町〇丁目 鈴木 〇〇</p> <p style="text-align: right;">〇三三八(〇〇)〇〇〇〇</p>	<ul style="list-style-type: none">・時候のあいさつ・故人との続柄、故人名 例) 亡夫 / 亡妻 / 亡父 亡母 / 亡祖父 など・年回忌・日時・場所・会食の有無・送付月・住所・施主名・電話番号
--	--

4) 出欠のとりまとめと最終打合せ

参列者の人数が、決まったら、宿と打合せをします。

【人数】に応じて、【お膳】と【引出物】の個数を決めます。

【お膳】は、ご住職様やご家族の人数もお加えください。

また、陰膳が必要か、ご検討ください。

【引出物】は、のしをつけるかどうかご検討ください。

登府屋旅館にてご注文いただきますと、提携店の引出物を10%割引してご用意いたします。

人気のカタログギフトも、3,000円が2,700円です。

「白ぶかし」のご注文も代行いたします。

5) お花、お供えの手配

お花、お供え物が、必要かを菩提寺様に確認します。

必要な場合は、事前に準備します。

6) ご住職様への謝礼(お布施)の準備

最近法事を行ったお宅に尋ねるか、直接ご住職に相談されてもよいでしょう。

7) ご法事当日

法事は葬儀と違い、進め方に明確な決まりはありません。

ご住職様の指示に従って進行してください。

1. ご住職の読経
2. お焼香
3. ご住職の法話
4. お墓参り (49日法要の方は納骨式もある)

8) ご法宴 (お齋・なおらい)

ご法要の後は参列者をもてなす会席を設けます。

最上席にはご住職に座っていただきます。

お隣には、歴史の古い親戚の順に座ります。

施主様は隣に座りますが、他の家族は末席に座ります。

1. 施主の挨拶
2. ご住職様の挨拶
3. 献杯
4. 故人を偲びながらの会食
5. ご住職様への謝礼
6. 宴席の終了

■ 施主のあいさつ

挨拶の内容は、以下の通りです。

- ・菩提寺のご住職様、ご参列いただいたお客様へのお礼
- ・遺族の近況 など
- ・用意したお膳をお勧めする言葉

■ 四十九日(49日) あいさつ例

【法事開始】

本日はご多用中のところ、七き父(母)の四十九日の法要にお越しくださしまして、誠にありがとうございます。ございます。葬儀の際には、皆様にはひとかたならぬお世話を賜りましたこと、改めて御礼申し上げます。

本日、無事に納骨を済ませることが出来ましたのも、皆様方のお力添えの賜物と心より感謝いたしております。父(母)がこの世を去ってから今日(こんにち)、今更ながら、その存在の大きさを実感いたしているところでございます。父(母)を失ったことは無念ですが、残された者が、力を合わせて仲良く生きていく事が、七き父(母)への何よりの供養と信じております。

どうか皆様、今後とも引き続きご指導賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

本日はわざわざお越しくださしましたのに、たいしたおもてなしもできませんが、お時間の許す限りごゆっくりお過ごしただければと存じます。本日は誠にありがとうございます。ございました。

それでは〇〇寺ご住職様、よろしくお願いいたします。」 と一礼します。

【法事終了】

「そろそろお時間となりましたので、これにてお開ぎにしたいと存じます。

父(母)が亡くなり寂しくなりましたが、どうか今後とも、変わらぬお付き合いをよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。」

■一周忌 あいさつ例 ①

【法事開始】

「本日は、お忙しいところお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

ただいまより、七き夫(妻)〇〇、法名〇〇院〇〇の一周忌法要をいとなませていただきます。」

と、法要開始を告げ、僧侶に向かって「よろしくお願いいたします」と一礼します。

【法事終了】

「おかげをもちまして、七き夫(妻)〇〇、法名〇〇院〇〇の一周忌法要を無事にいとなませていただくことができました。本日は誠にありがとうございました。これより、ささやかですが、簡単なお食事をご用意いたしております。みなさま、どうぞ故人の思い出話などを交えて、ごゆっくりお召上がりください。」

■一周忌 あいさつ例 ②

【法事開始】

「本日は、皆様お忙しい中を七き夫(妻)〇〇、法名〇〇院〇〇の一周忌にお参りいただきまして、ありがとうございました。ときは早いもので、夫(妻)が亡くなりまして一年の月日が流れました。

当初はただ呆然とする日がつづき、しばらくは火が消えたような状態でしたが、ようやく元気を取り戻してまいりました。これも、皆様方のお力添えのおかげと感謝いたしております。本日は、ささやかですが、お食事をご用意させていただきました。どうぞごゆっくりご歓談くださいますようお願い申し上げます。

また、故人の思い出話などもお聞かせいただければ幸いです。本日はありがとうございました。それでは〇〇寺住職様、よろしくお願いいたします。」と一礼します。

【法事終了】

「まだまだ皆様のお話をお聞きしたいのですが、お時間も大分過ぎてまいりました。

このあたりで夫(妻)〇〇、法名〇〇院〇〇の一周忌法要を終了させていただきたいと存じます。夫(妻)がいなくなって寂しくなりましたが、残りました家族一同助け合ってやっていきたいと存じます。どうか皆様、今後とも変わらぬお付き合いのほどよろしくお願い申し上げます。

皆様のお席の横にお引きもの(引出物)をご用意させていただきました。お帰りの際にはお忘れになりませぬよう、お持ち帰りくださいませ。本日は本当にありがとうございました。」

■ よくある質問と答え

Q. 引出物には、どんな品物が向いているの？

A. 法事の引出物は、2,500～5,000円位のものが多いようです。

実用的なものが喜ばれる傾向があり、タオル、シーツ、お茶、食器、漆器、海苔などが定番です。

ただし、故人を偲ぶ意味を込めてこだわりの品を選ぶ場合もあります。引出物のほかにお菓子を付けて、合計で5千円前後にする場合もございます。

また、参列されるお客様の年齢などを考慮して選ぶことも必要です。

かさばる品は持ち帰りが大変になりますから、引出物の大きさには注意を払いたいです。

最近では、カタログギフトで、お客様が後日好きなものを選ぶシステムも多く見られます。

海苔・お茶	古くからお返し物として使われてきた定番商品です。
砂糖	慈愛を表現するもの。消耗品なので先様へ不幸が及ぶのを消滅させるともいわれます。
繊維	故人の形見分けの意味を持ち、実用品として広く使われています。
漆器	不幸を塗りつぶすものとして、仏事のお返しとして使われています。
陶器	土に帰るとして、故人の冥福を祈るものとして使われています。

Q. 熨斗(のし)はどうしたらいいの？

A. 法事の引出物に熨斗を付ける場合は、関東では「黒白の水引」を使用します。

熨斗の表書きには「志」と薄墨で表記します。「〇〇家」と施主様の家名を入れる場合もございます。

Q. 年忌・年回の数え方は？

A. 通夜、葬儀、四十九日(満中陰)、百力日を終えて、最初に訪れる年忌(ねんき)・年回(ねんかい)法要が「一周忌」です。亡くなってまる一年目の命日です。そして、まる二年につとめるのが、「三回忌」です。

次に、まる六年目が「七回忌」、まる十二年目が「十三回忌」、まる十六年目が「十七回忌」、まる二十二年目が「二十三回忌」、まる二十六年目が「二十七回忌」、まる三十二年目が「三十三回忌」、まる四十九年目が「五十回忌」と続きます。

Q. 複数の法事を同時に行ってもいいの？

A. 七回忌からは「併修(へいしゅう)」といって、複数の故人の年回をあわせてつとめても構いません。

たとえば、父親の年回と母親の年回が、1～2年のうちに続く場合、2つの年回を一緒につとめるのです。この場合は、早いほうの命日に合わせるようにします。

Q. 服装はどうすればいいの?

A. 初七日、四十九日、一周忌法要までは喪服を着用するのが原則です。

三回忌からは回を追うごとに略式化して行きます。

【男性の場合】

式喪服の洋装ならモーニングコート(黒のベスト、ネクタイなど)一式、和装は黒の五つ紋付の羽織袴(はかま)で袴は縞が細くて地味なもの。

【女性の場合】

洋装は、黒のアフタヌーンドレスなど(胸や腕が露出しない洋装で真夏でも七分袖か五分袖まで)アンサンブルの場合、式以外のときは上着を脱いでもかまいません。

和装は黒の五つ紋付・黒無地の袋帯・帯揚げ・帯締め・草履なども黒で統一、足袋は白、髪飾りや帯止めは不要です。

【中学生、高校生】

制服が喪服として正装になります。

制服がない場合は、黒や紺、グレーなど、無地の洋服でもかまいません。

【制服がない場合の子供】

男子の場合、黒、紺、グレー、茶、などのジャケット。白シャツ、黒のネクタイ、ダーク系のズボン。黒か白の靴下に黒い靴(光沢なし)。

女子の場合、黒やダーク系のワンピース、白のブラウスに黒のスカート。黒か白の靴下に黒い靴(光沢なし)。

■ タイムスケジュール

時 期	施主様の段取り	ポイント	成果物
3ヶ月前	施行方法を検討 菩提寺様に相談 招待客リストアップ 案内状文面の検討	<input type="checkbox"/> お詣りは、お寺か?自宅か? <input type="checkbox"/> 日程はよいか? <input type="checkbox"/> お墓には、行くか? <input type="checkbox"/> 集合・開始・会食は何時? <input type="checkbox"/> 何人ぐらい招待するか?	<input type="checkbox"/> 当日の概要 <input type="checkbox"/> 招待客リスト <input type="checkbox"/> 案内状(案)
	宿と打合せ	<input type="checkbox"/> 日時は、大丈夫か? <input type="checkbox"/> だいたいの人数は? <input type="checkbox"/> 交通手段は? <input type="checkbox"/> プランの内容は? <input type="checkbox"/> 引出物の内容は? <input type="checkbox"/> 思い出ムービーの内容は?	<input type="checkbox"/> 会場 予約 <input type="checkbox"/> 送迎 予約 <input type="checkbox"/> ムービー 予約
45日前	案内状 完成品 お渡し 案内状 発送	<input type="checkbox"/> 住所・氏名は間違いないか? <input type="checkbox"/> リスト漏れはないか?	<input type="checkbox"/> 案内状 → 発送
15日前	出欠とりまとめ 引出物・お膳の個数決定	<input type="checkbox"/> 最終的な人数は? <input type="checkbox"/> 途中で帰る人はいないか? <input type="checkbox"/> 思い出ムービー内容確認	<input type="checkbox"/> 出席者一覧表
	宿に連絡	<input type="checkbox"/> 会食の参加人数は? <input type="checkbox"/> 席次とお膳の並べ方は? <input type="checkbox"/> 引出物の個数、のしは? <input type="checkbox"/> 白ふかしは? <input type="checkbox"/> 陰膳は準備するか?	<input type="checkbox"/> お膳の数 <input type="checkbox"/> 引出物の数 <input type="checkbox"/> 会食の席次
5日前	当日への手配	<input type="checkbox"/> お花は? <input type="checkbox"/> お供えは? <input type="checkbox"/> タクシーなど交通手段は?	<input type="checkbox"/> お花 <input type="checkbox"/> お供え <input type="checkbox"/> タクシー予約
2日前	お布施(謝礼)の手配	<input type="checkbox"/> ご住職様へのお布施(謝礼) <input type="checkbox"/> 段取りの最終チェック	<input type="checkbox"/> お布施
当 日	ご法事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	ご法宴 (お斎)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※宗派による違いもございますので、念のため菩提寺様にご相談ください。

小野川温泉 / 鈴の宿 登府屋旅館 (電話番号0238-32-2611)